

# KAGOSHIMA DESIGN AWARD 2013



鹿児島の特産品を、リデザインする。

# KAGOSHIMA DESIGN AWARD 2013

www.kagoshima-design.jp

# KAGOSHIMA DESIGN AWARD 2013

## ▶ about “KAGOSHIMA DESIGN AWARD 2013”

鹿児島市では、デザイン性を高め、商品・サービスの魅力を消費者にどのように伝えるかを、企業とデザイナーがともに考えるためのオープンな場として、「かごしまデザインキャンプ」を2012年から開催しております。ここでは、デザインの現場で活躍するゲストを迎えて、デザインと商品開発の関係を学ぶセミナー等を開催し、これらを通して、自社商品そのものやパッケージ、広告など多様な分野のデザインの重要性を企業が、また商品の魅力を伝えるために必要な複合的な視点のあり方をデザイナーが、それぞれ理解しながら両者で新たな価値の創造を図ります。また、今回、鹿児島市内企業の提供する商品デザイン課題に対し、全国のデザイナーから作品を募集する「かごしまデザインアワード2013」を開催いたします。鹿児島の特産品をはじめとする有望な資源をより輝かせるためのすばらしいデザイン案を全国の皆様よりお待ちしております。

## ▶ concept “KAGOSHIMA DESIGN AWARD 2013”

「かごしまデザインアワード2013」は、鹿児島地域の特産品をはじめとする商品や企業、観光地などにデザインを結びつけることにより、販売推進およびデザイナーの育成を図ることを目的としたプロジェクトです。鹿児島市内はもとより、全国の優秀なデザイナーから企業課題テーマに基づいたデザインを募集し、選ばれたデザイナーと各企業とが知恵を出し合うことで大都市圏や海外マーケット等に向けた商品を創造します。

## ▶ thema “KAGOSHIMA DESIGN AWARD 2013”

### 「鹿児島の特産品を、リデザインする。」

鹿児島の特産品等を首都圏の消費者や観光客を主なターゲットにリデザインする。

- example**
- ・地元向けに販売をしていた商品を首都圏向けに販売する際のパッケージデザイン案
  - ・地元企業が観光客向けに行うサービスの象徴となるようなキャラクターデザイン案
  - ・特産品の素材を使った新しい商品のデザイン企画案

※ 課題に関する情報は、webページにて発表致します。

## ▶ summary “KAGOSHIMA DESIGN AWARD 2013”

賞金	賞金総額100万円 / 最優秀賞50万円
募集内容	課題テーマに沿ったデザイン企画（課題は、webページにて発表）
提出物	応募用紙、デザイン企画書、デザイン案他 ※第1次選考通過者は制作物
応募方法	応募用紙をwebページよりダウンロードし必須事項を記入の上、企画書を添えてメールもしくは郵送にて応募
選考方法	「かごしまデザインアワード審査会」【審査員：下川一哉(日経デザイン編集長)、杉山知之(デジタルハリウッド大学学長)、ウジトモコ(ウジバプリシティー代表取締役)】を設置し、同会にて選考します。 ●第1次選考 / 事務局で資格等を審査の上、審査会にて選考 ●第2次選考 / 各課題企業担当者の意見を聴取の上、審査会にて選考 ●最終選考 / 第2次選考通過者に対し、2014年2月上旬に鹿児島市にて行われる最終プレゼンテーション審査(公開)を実施し、最優秀作品を決定
結果発表	・第1次選考結果は通過者のみに対して2013年12月20日までにメールにて連絡します。 ・第1次選考通過作品については、後日、webページおよび市内施設内にて作品を掲示し、一般投票を行います。 ・第2次選考結果は通過者のみに対して2014年1月20日までにメールにて連絡します。 ・上記以外の発表方法として、各選考の通過作品は、webページにて公開します。

## ▶ point “KAGOSHIMA DESIGN AWARD 2013”

- ・第2次選考を通過した作品は鹿児島市にて最終プレゼンテーション審査(公開)を行います。(2014年2月上旬予定)
- ・審査会が選定したデザインに対して各企業は商品化を目指します。
- ・受賞作品を商品化する権利は、課題提供企業が2015年3月31日まで優先保持します。

※ 課題提供企業の技術的限界、あるいは経営的判断により、デザインの仕様変更、もしくは開発中止になる場合もあります。

## 【応募資格】

アワードの応募資格は、次のとおりです。

- 1) 個人、企業、団体、グループの別及び年齢、性別、職業、国籍は問わない。
- 2) 作品が採用された場合、商品化時の制作対応が可能であること。
- 3) 本アワードの趣旨を理解し、課題提供企業の企業活動を支援する意思を有すること。

※ 未成年者の作品が採用される場合には親権者の同意を必要とします。

## — かごしまデザインアワード スケジュール —

- 8月1日(木) — 作品募集開始
- 11月29日(金) — 募集〆切(必着)、第1次審査開始
- 12月20日(金) — 第1次選考通過者発表、制作物受付開始
- 1月上旬 — 第2次審査
- 1月20日(月) — 第2次選考通過者へ発表
- 2月上旬 — 第2次選考通過者による最終プレゼンテーション審査(公開)、最優秀賞の決定、表彰式

## 詳細情報・応募申込みは、webページへ

<http://www.kagoshima-design.jp>

| 作品提出・お問合せ先 |

かごしまデザインアワード2013事務局 (株式会社 創企堂 〒892-0831 鹿児島県鹿児島市船津町1-11)  
TEL: 099-239-0253 FAX: 099-239-0254 MAIL: info@kagoshima-design.jp

※かごしまデザインアワードは「鹿児島市クリエイティブタレント育成支援事業」として鹿児島市から委託を受けた株式会社創企堂が運営しています。

- 主催：鹿児島市
- 後援：特定非営利活動法人鹿児島デザイン協会、公益社団法人鹿児島県特産品協会、NHK鹿児島放送局、KTS鹿児島テレビ、MBC南日本放送、KYT鹿児島読売テレビ、KKB鹿児島放送、南日本新聞社、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム
- 協力：デジタルハリウッド大学、KCS鹿児島情報専門学校、タラデザイン専門学校、鹿児島キャリアデザイン専門学校、KBCC鹿児島情報ビジネス専門学校、鹿児島大学

## ▶ judge “KAGOSHIMA DESIGN AWARD 2013”



### 下川一哉氏

【日経デザイン編集長】

1963年、佐賀県生まれ。1988年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。同年、日経マクロウヒル(現・日経BP社)入社。2008年より『日経デザイン』編集長。経済産業省、特許庁ほかの各種デザイン関連委員を歴任。2008年12月に仏パリ、2009年5月に米ニューヨークで開催された「感性—Japan Design Exhibition」のキュレーション、経済産業省2009年度ソフトパワー海外派遣事業エグゼクティブプロデューサーも務める。



### 杉山知之氏

【デジタルハリウッド大学 学長・工学博士】

87年よりMITメディア・ラボ客員研究員として3年間活動。90年国際メディア研究財団・主任研究員、93年日本大学短期大学部専任講師を経て、94年10月 デジタルハリウッド設立。2004年日本初の株式会社立「デジタルハリウッド大学院」、翌年「デジタルハリウッド大学」を開学。現在、同大学の学長を務める。



### ウジトモコ氏

【アートディレクター・株式会社ウジバプリシティー 代表取締役】

多摩美術大学グラフィックデザイン科卒 デザインを視覚に訴える経営戦略として捉える「視覚マーケティング」の提唱者。ビジュアルディレクターとして数多くの企業の新規事業開発、事業転換期のデザイン戦略を立案。フルメディアに対応可能・視覚戦略を駆使した「マルチユースデザイン」に定評がある。著書に『視覚マーケティングのススメ』『売れるデザインのおしくみ』『デザインセンスを身につける』『伝わるロゴの基本』など。

## — 関連事業 / かごしまデザインキャンプ お知らせ —

### デザインセミナー 全5回

●目的：第一線で活躍している講師を迎え、デザイナーを対象に、デザインによる様々な効果アップの手法を講座形式で学びます。(講座終了時点でデザインアワード応募を目指します。)

●対象：デザイナー、学生、商品企画担当

●場所：ソーホーかごしま ●定員：各回30名

●日時：2013年8月、9月

### ディレクターセミナー 全5回

●目的：デザインセミナーにあわせて、デザイナーや企業担当者等を対象に、商品(サービス)デザインの質の向上および制作会社やデザイナーとの交渉スキルアップを学び、企業内、制作会社等にて商品開発やデザイン関係を担当するディレクターを育てます。

●対象：営業、商品企画担当、企業デザイナー

●場所：ソーホーかごしま ●定員：各回20名

●日時：2013年10月、11月